

古今和歌集序
夫和歌者託其根於心地發其萌於詞林者也人之立世不能無為思易遷哀樂相感感生於志詠託於言是以述者其樂樂感者其吟悲可以述懷可以發憤動天地感鬼神化人倫和夫婦奠臣節和秋有六義一曰風二曰賦三曰比四曰興五曰雅六曰頌若夫春鶯之轉華中秋蟬之吟樹上雖世曲折各發其可誦物固有自然之理也悲而秋在七代時質人淳情欲言分和秋未化遂于哀感焉尊劉雲國始有三十字之詠今反為作也其後雖天神之孫海童之女莫不以和歌

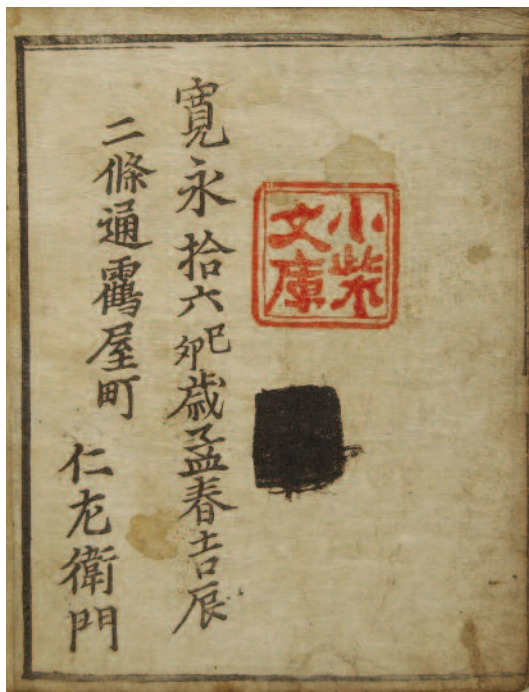
1. 古今和歌集（鎌倉時代後期寫）



2.伊呂波韻（寛永16年刊）



2.伊呂波韻（寛永16年刊）



2.伊呂波韻（寛永16年刊）

三 武藏野子聖大權現（説經正本・六段本）
吾野里







4. 日本永代蔵 (井原西鶴著)



5. 日本新永代藏 (鳳城團水著)

四 日本永代藏 (井原西鶴著)





四 日本永代藏 大福新長者教（井原西鶴著）





五
本日新永代藏
今世長者鑑（鳳城團水著）





一〇 曾根崎情鵲（浮世草子・八文字屋本）





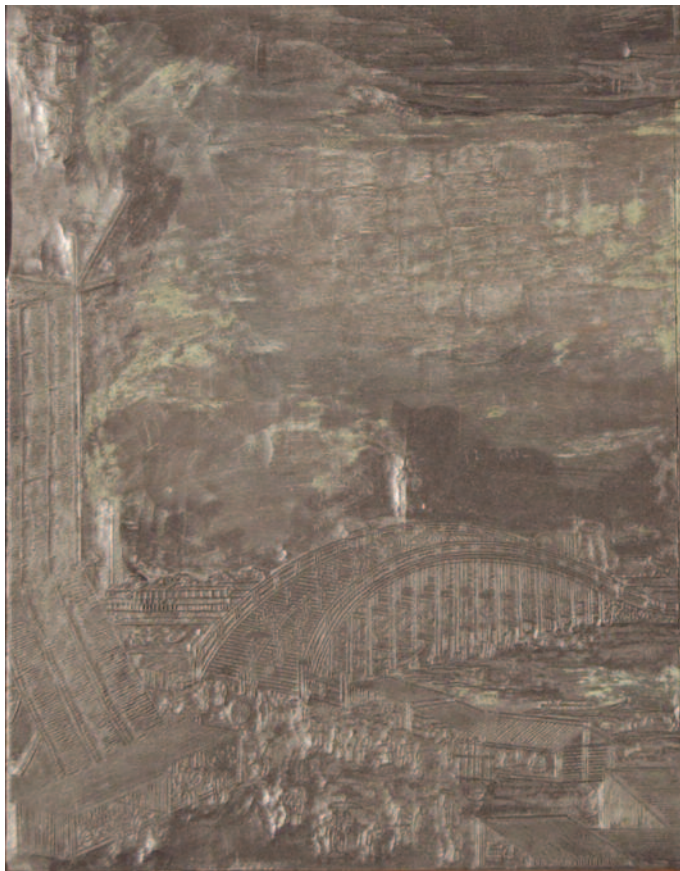
二
蕙齋百千鳥





二八 東都兩國之風景ノ板木
(昇亭北寿画)

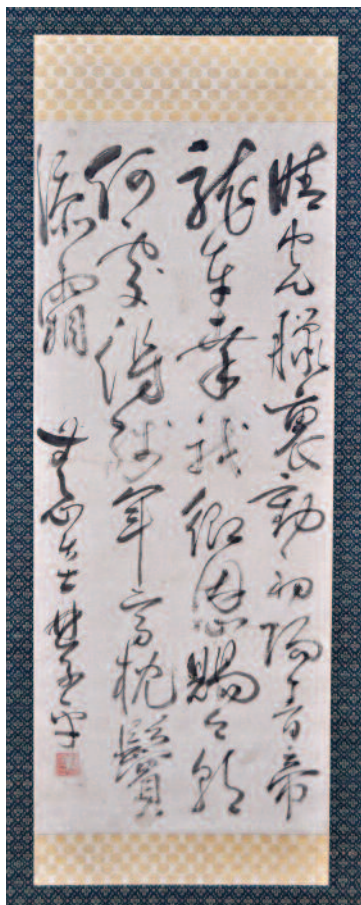




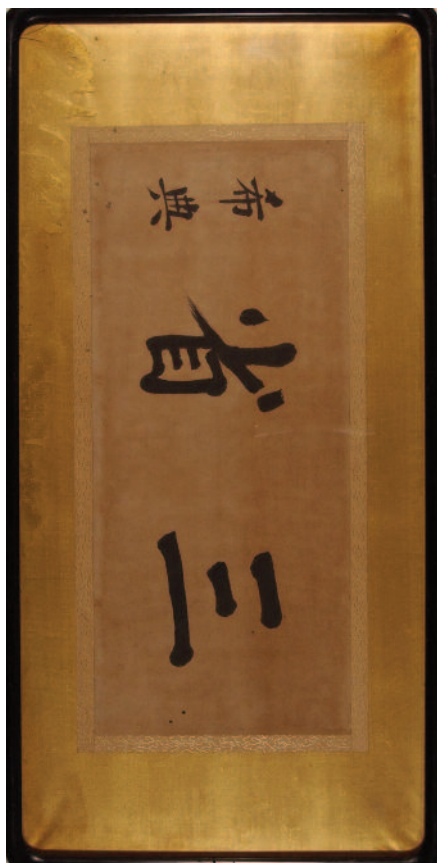
三三五 上野動物公園並運動場新設計畫說明書及地圖（古賀忠道記）







145. 林子平書幅

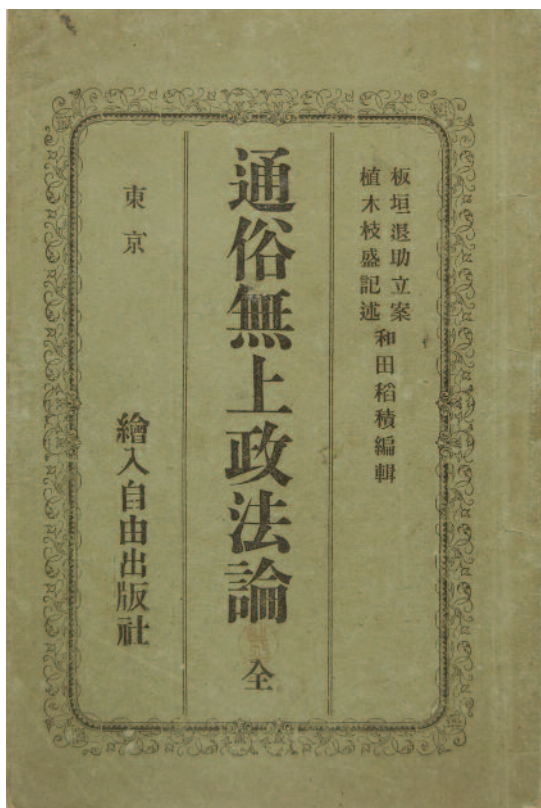


147.乃木希典遍額

宗位保羅達哥林多人前書
 哥林多ハ則ケレキヤ境内アハイヤニ在ル一城邑ニシ
 テ東ハイケイノ海ヲ控レ西ハイラニヤノ海ニ襟レ南海
 ノ際ニ在ル狭港ニシテ人物往來ノ街路舟車出入ノ閑津
 ニ係ル歟レニヨリテ外邦イ人民多ク其ノ地ニ聚會ス貿易
 ノ盛ニナレテゲレキヤ全國ニ卓廻ス高名繁盛ノ城ニシ
 テ之ヲ學術尤モ外邦ニ冠スリ其ノ中殊ニ有名ナルハ利
 ストマイト名クルケレキヤノ遊戯アリ此レニ歲ノ間ニ一
 會アリテ金ゲレキヤ及ビ外邦ノ人民ハ士學士考大ニ會
 聚ミカナル者ハオラ南ノ諸邦ヲ能クタル者ハ諸邦ヲ職
 ス學士ハ著書ヲ讀ムヲ各々其長スル所ヲ炫レテ遊戯ト
 ナル歟如ク人民輻輳ノ地ナルニヨリ利ヲ獲ル尤モ受

133. 哥林多前後講述 (傳教學校)

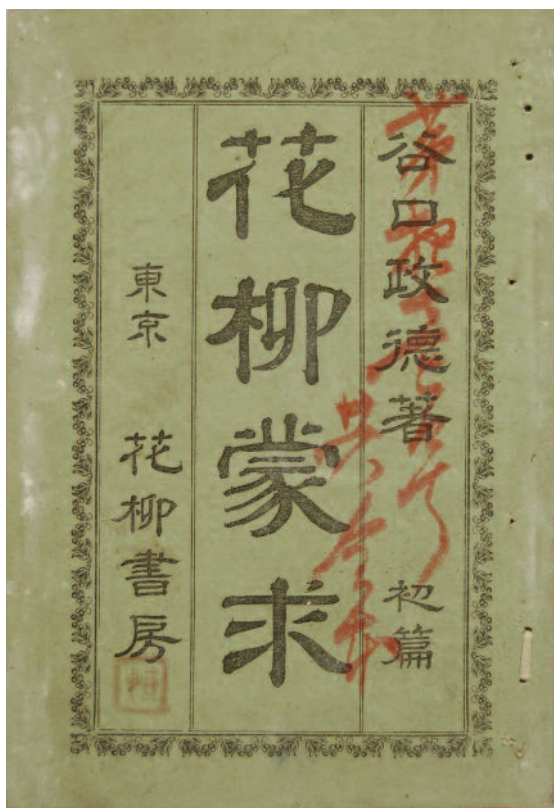
薦書
教師ゴヤソン
右者當中會、屬スル教師、有之候
處、今般貴中會、轉會校シ度旨
ト出ラレ候ニ付、即チ薦書差上
候也
明治廿三年三月廿四日
宮城中會書記
東京中會書記永井玉五郎
中



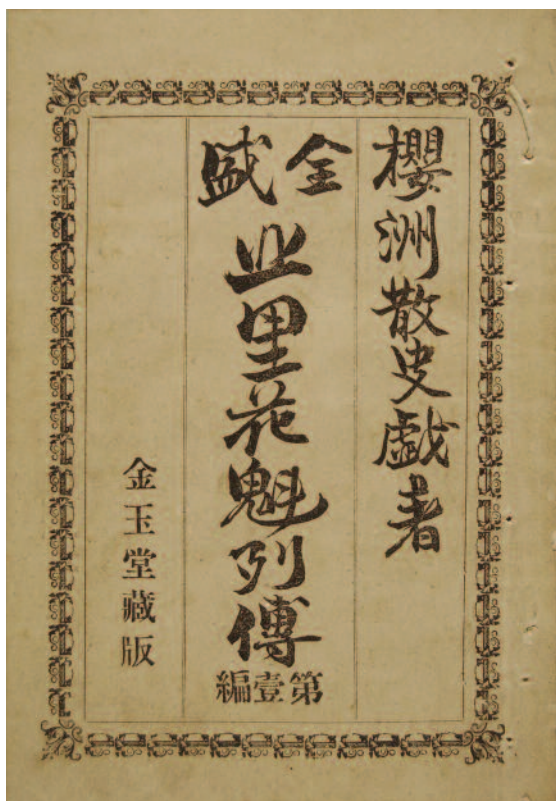
212.通俗無上政法論（植木枝盛記述）



268.社會燈 第壹號 (平等社)



236.花柳蒙求 初篇（谷口政徳著）



237.全盛北里花魁列傳 第壹編（大久保夢遊著）



266.魯文珍報（假名垣魯文編・河鍋曉齋画）

第九卷五號

(しうとのかみ十三日二十百己曆西)

日十二月一年三廿拾明

日〇十五

行設

女新聞

省信遞

可認

女新聞

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

第一回

昭和十五年四月二日第三種郵便物認可
振替貯金口座番號一〇九七
渡米協會は神田三崎町三十一番地(停車場地)
明治三十五年四月二日第三種郵便物認可
振替貯金口座番號一〇九七
渡米協會は神田三崎町三十一番地(停車場地)
八月例会
午後二時始
十二日
廿六日

渡米雜誌

定価 一冊要稅共 卅五錢 六冊七拾五錢 十二冊壹圓五拾錢
一冊米協會に加入金壹圓卅五錢共 六冊米協會に加入金壹圓五拾錢共 十二冊米協會に加入金壹圓五拾錢共
東京市神田區三崎町三十一番地(停車場地) 渡米雜誌社

昭和	年	月	日
通帳	3899	号	
金額	97	号	
中村小仁太藏書			

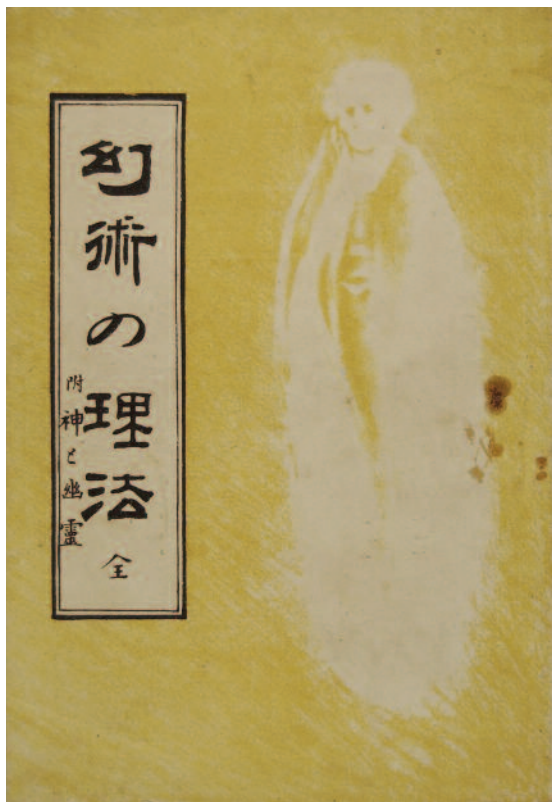


ライオン萬磨
東京市神田區三崎町三十一番地(停車場地) 渡米雜誌社
社長 渡米士 山口 昌高

山口眼科院
東京市神田區三崎町三十一番地(停車場地) 渡米雜誌社
院長 渡米士 山口 昌高

行一(龍左)氏御海内生學留とラガナイナの水

269.渡米雜誌 (渡米協會長／片山潜)



238. 幻術の理法 附、神と幽霊

一 古今和歌集 二〇卷

大一帖 三、五〇〇、〇〇〇

鎌倉時代後期寫 本ノ大キサ二五・〇×一八・七糎 粘葉裝

一〇三頁参照

料紙ハ鳥ノ子紙、首尾ニヤヤ虫喰イガアルガ中ニ入ルホドニ虫喰イガ少ナクナル。傳來ノママノ未補修。

卷頭ニ眞名序、次ニ仮名序、本文二〇卷ヲ合冊。奥書ハナシ。

卷頭ニ眞名序ヲ有スル鎌倉時代寫ト斷定サレル傳本ト比ベルトヤヤ大振リ。定家本系ノ所謂公家本ノ多クハ一丁ノ行數ガ八行〱一〇行ガ主流ナルモ本書ハ一二行。公家本系ノ傳本ト比ベテ書風ハ猛々シイ。書寫ハ僧侶マタハ武家ニヨルモノカ。

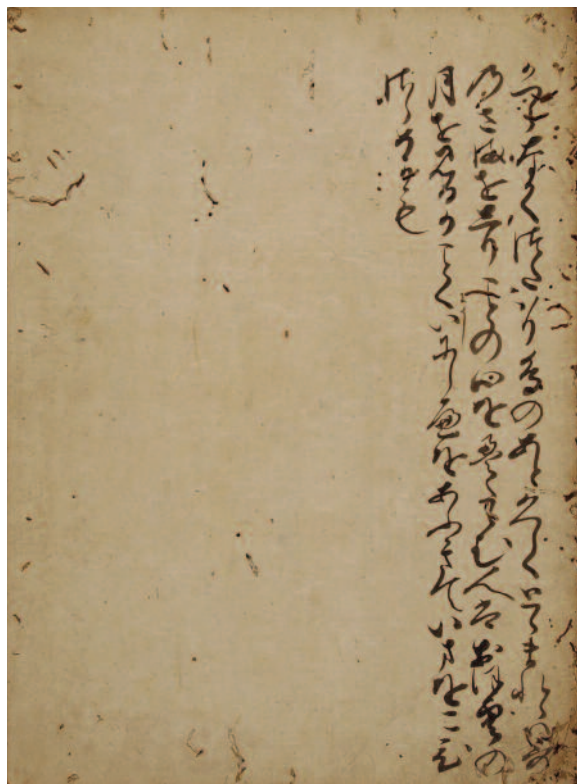
藏書印「桂廼舍」ハ不明。ダガ押捺サレタ藏書印ノ印肉ハ比較的若イ。

「桂廼舍」ヲ調ベルト昭和初期ニ『桂廼舍歌集』ト題シタ刊本ヲ著シタ松園春美トイウ歌人が存在シタ。印肉ノ色合イカラミテソノ人物ノ可能性ガ高イ。



通情者愛及人代以風火興長秋種秋種頭
 木之類雜神非一源流漸敘繁華猶拂雲之
 樹生自寸田之煒活美之汲起在一滴之露
 必輸汲津之什獻 天皇富緒川之篇報
 太子或率開神異或與入出玄但見上古可
 多好古所與之詔未為耳目之親遠為教戒之
 端古 天子每良辰美景詔侍長預宴延
 者獻和歌若長之情中躬之見賢思之性也
 相分所以隨氏之秋擇書之也自古皇太子之
 初作詩賦詞人才子莫不風冠塵移曉家之定花
 我日試之依氏業一政和秋所長慈經前之

予亦患此病以山之難測靈為水之難定年之
困口妙長為巖之頑洋之滿耳思鍾既施之
風於世之廢之道之衰詔之內祀紀友則而素
預紀實之於甲斐少目凡河內躬恆在洛陽
生至生忠孝等名獻家集并古來萬萬
曰張萬葉集於是重有詔外類所奉之禮物
為二十卷名曰古今和歌集長等詞少者之
艷者竊稱和之長況武進恐恃位之朝進
慙才疏之越通遇和歌之中興以樂吾道
再思嗟年之凡既沒和歌不在形或于何處
歲次山部四月十五日臣賀之等謹序



古今和歌集卷之十二

惠哥二

新古今

小野小町

思ひつねきくやへんをうらむるをうらむるを
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるを
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるを
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるを

素性は抑

思ひつねきくやへんをうらむるをうらむるを
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるを
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるを
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるを

思ひつねきくやへんをうらむるをうらむるを

二 伊呂波韻

丹表紙

原裝釘

題簽欠

寛永一六年刊

小二冊

四〇〇、〇〇〇

―「寛永拾六己卯歲孟春吉辰／二條通鶴屋町／仁左衛門」

一四・六×一二・二糶。枡形本ニ近イ判型。表紙ニハ墨書デ「伊路波鏡」ト記。『伊呂波韻』ニオケル初板。正保三版、慶安三版、享保一九版、天明四版トツク。四〜五頁参照。

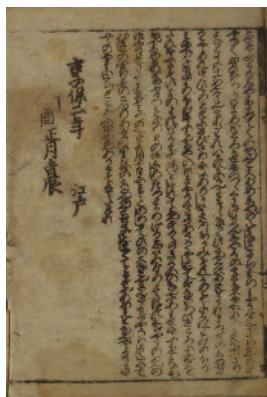
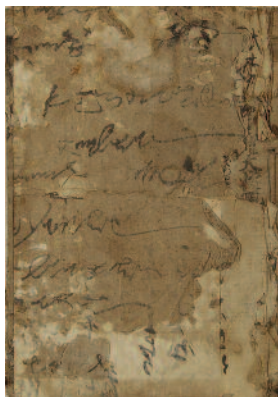




三 武藏野子聖大權現
吾野里

中一冊 八五〇、〇〇〇

― 説經正本 六段本 「享保二年 江戸 丁酉正月吉辰」 七、九頁参照
挿繪ハ見開キデ四圖。柱題「子」。丁ツケ「一」「二」「三」「四五」「六」
「七」「八九」「十」「十一」「十二」。巻首ト本文ニヤヤ染ミガアル他ハ
虫喰イハ一切ナク保存良好。タダシ表裏紙ハ江戸末期ニ改装シタトオモ
ワレル古改装本デ傷ミト小穴ガアル。『國書』ニハ本書ノ記載ハ無シ。





四

日本永代藏

大福新長者教

簽

貞享五年刊

大四冊

四〇〇、〇〇〇

― 卷一・二・三・五（全六卷ノ内）。卷四ト六ヲ欠クモノノ虫喰イモナク
若干染ミガアルガ比較的ニ保存良好。一〇・一二・一五頁参照。



井原西鶴著。吉田半兵衛風画。柱題「大福新長者教」。異版ナドヲ含メ
 テ數多クノ諸本ガアルガ、本書ハ三都、若シクハ二都ト呼バレル比較的
 早イ摺ノ傳本デアル。





五

日本新永代藏 今世長者鑑

― 卷一・二 (全六卷ノ内)

鳳城團水自序 全テノ插繪ニ丹緑黄ノ古着彩

アリ。表裏紙ト四周ニ柿渋ガ塗ッテアルタメ虫喰イハ全クナイ。

一一・一六・一七頁参照。

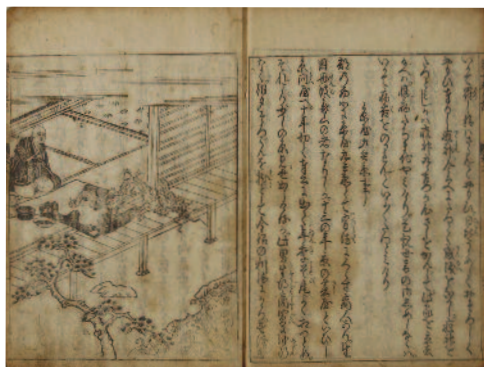
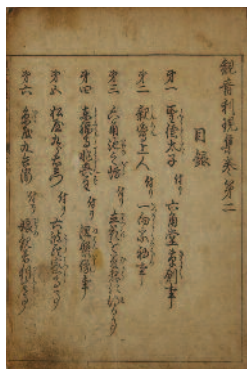


六
圖解射法一統 卷一・六（大尾） 卷六簽 貞享五年刊 大ニ册 一五、〇〇〇
— 全六卷ノ内二册 卷一ノ表裏紙欠末尾欠丁力

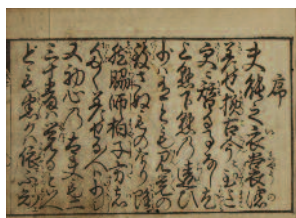
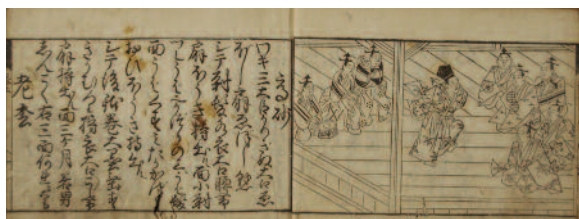
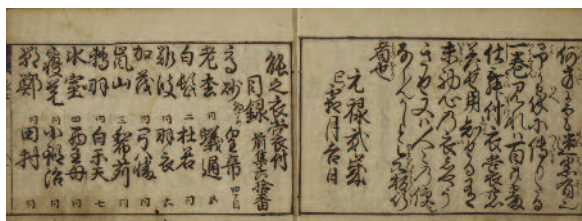


七

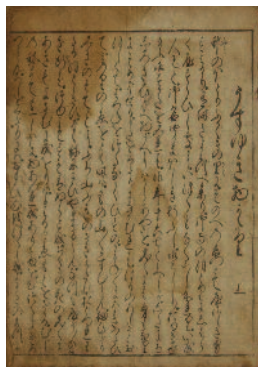
古今観音利現集 卷第二 簽擦レ 刊年不明 正徳頃 大一冊 二五、〇〇〇
 柱題「観音利生記」 國書二同名本ガアルモノ一冊ト記サレル。
 挿繪ハ三圖。



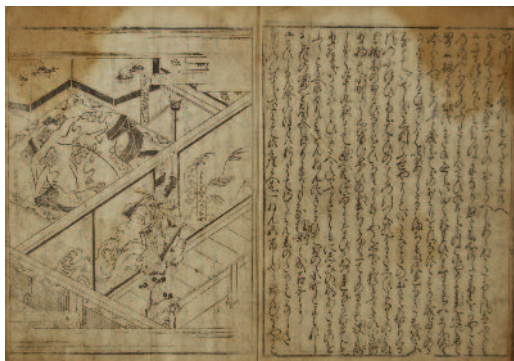
八 能之衣裳付 上卷（下卷欠） 籤 元禄二年霜月吉日序 小横二册 五〇、〇〇〇
 | 『國書』二八国会卜天理（下卷一册）ヲ示ス。



九 新板
繪入 當流うすゆき物語 上巻



箴 元禄頃刊 大 二冊 三五、〇〇〇

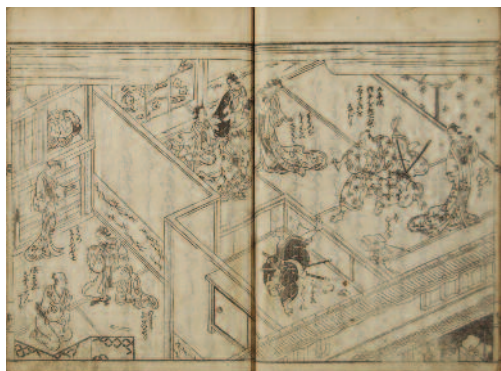
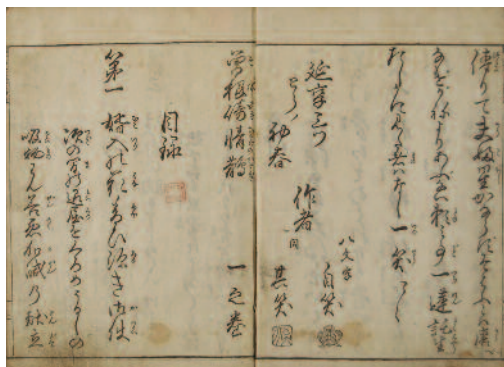


一〇 曾根崎情鵲 五卷

合本 改裝本 延享三年序刊 半一冊 一五〇、〇〇〇

― 八文字自笑・其笑作 八文字屋八左衛門板 一八・一九頁参照

浮世草子。明治時代ノ改裝本デ表紙ニ傷ミガアルガ保存状態ハ良好。





二

中臣祓要信解 三卷

筭欠

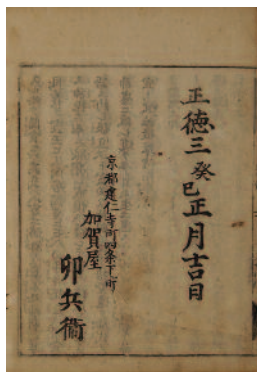
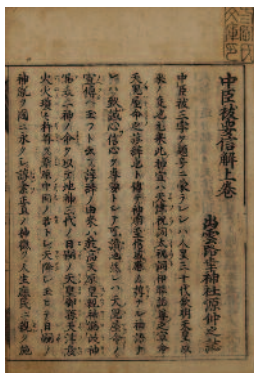
源仲之著

正徳三年刊

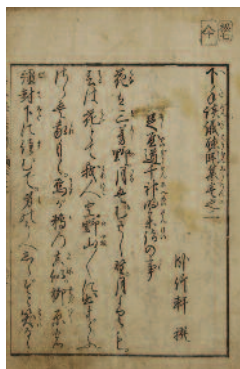
大三册

一五、〇〇〇

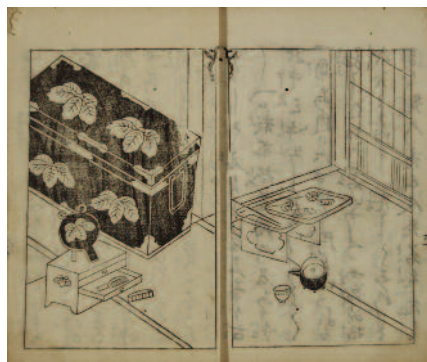
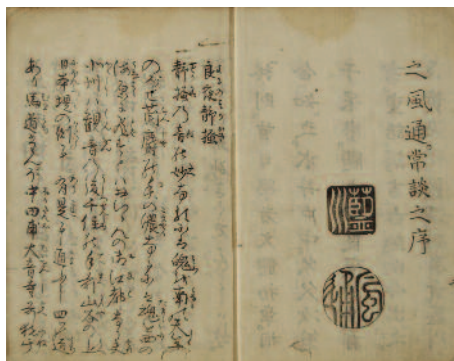
—京都／加賀屋卯兵衛板



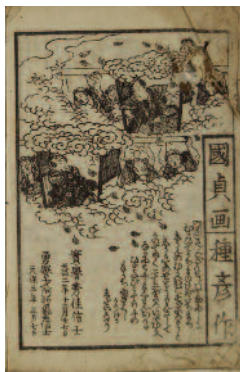
二 下手談義聴聞集 卷之二 箴 臥竹軒著 寶曆四年刊 半一冊 一〇、〇〇〇
 | 滑稽本 全五卷ノ内



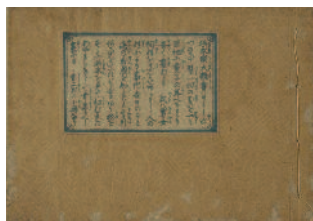
三 良夜靜搔 改裝本 少虫 洒落本 無刊記 寛政年間 小二冊 一五、〇〇〇



一四 三津瀬川上品仕立 全丁ニ互リ虫穴欠字 天保三年序 中一册 一〇、〇〇〇
 | 坂東秀佳・瀬川路考追善 柳亭種彦作 歌川國貞画 榮久堂板



一五 大ざつ志よ 籤 永樂屋東四郎板 無刊記 江戸末期 中横二冊 一五、〇〇〇
 一 方題籤ヲ附スガ外題籤ハ欠

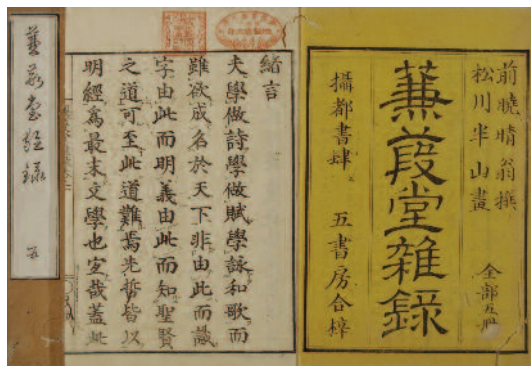


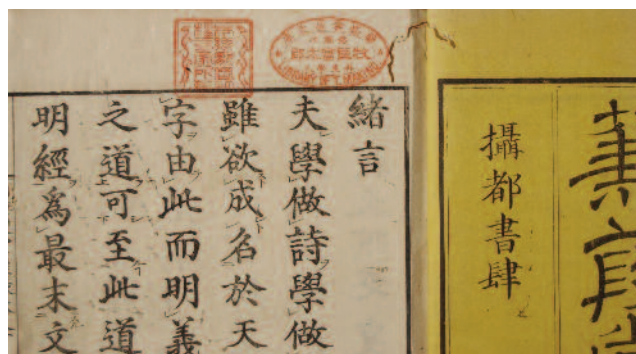
一六 國性爺一代記 第二編 簞 錦耕堂梓 安政二年刊 中二冊 二〇、〇〇〇
 | 假名垣魯文編 一鳳齋國明画



一七 兼葭堂雜錄 五卷 簽 少虫 前曉晴翁撰 明治摺 大五冊 五〇、〇〇〇

— 松川半山畫 大阪前川善兵衛ノ明治版ナガラ植物學者牧野富太郎ノ舊藏
本ナリ。全冊ニソノ藏書印ヲ押捺。





一八

塚原山詩調連俳

千人一首

卷之一

簽

弘化四年（國書）

半一冊

五〇、〇〇〇

常盤園磨

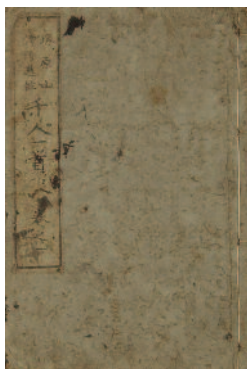
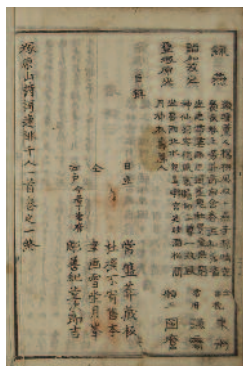
日立／

常盤庵藏板

日立／雪堂月峯画

常州及總州俳諧画像集

國書ニヨルト一冊ノミ以下未刊力





一九 狂歌名數画像集 卷首三丁破レ傷本
 | 文々舎撰 岳亭八島定岡画



丁數不備三一丁 半一冊 一〇、〇〇〇





二

蕙齋百千鳥

一 絹本表紙

画帖ノ大キサ二四×一七・五糎

簽

七面

蕙齋寫

無刊記

半一帖 一五〇、〇〇〇

二〇・二二頁参照





三 草花畧画式

簽 鋤形蕙齋筆

文政八年酉六月刊

大二冊 五〇、〇〇〇



二三

江戸俳諧興行ノ摺物
―北齋宗理画

ヤヤ虫アリ

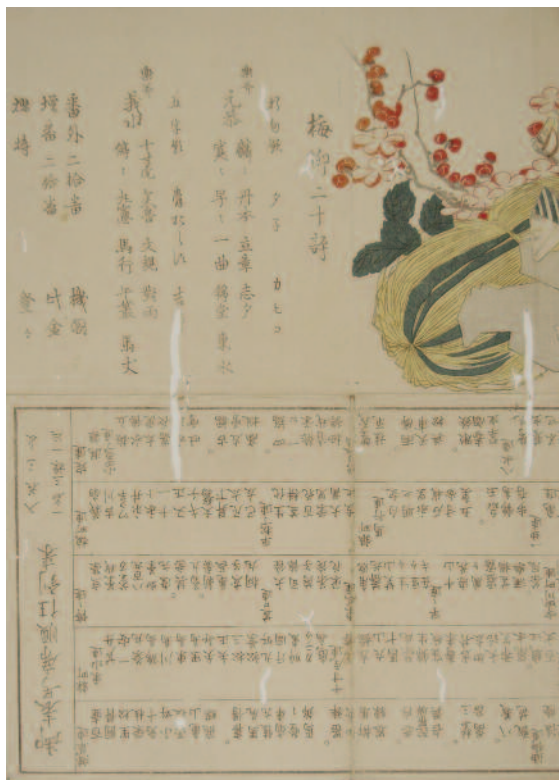
三八×五二

寛政享和頃刊

一枚

二〇、〇〇〇





二四

北尾杉臯政美活花興業ノ摺物

三八×五一

無刊記

一枚 四五、〇〇〇

―東雲齋

淺草並木お巴屋

寛政六年以前頃刊

北尾政美ハ寛政六年二津

山藩ノ才抱エ繪師トナリ鋏形蕙齋紹真ト名乗ル。虫穴アリ。

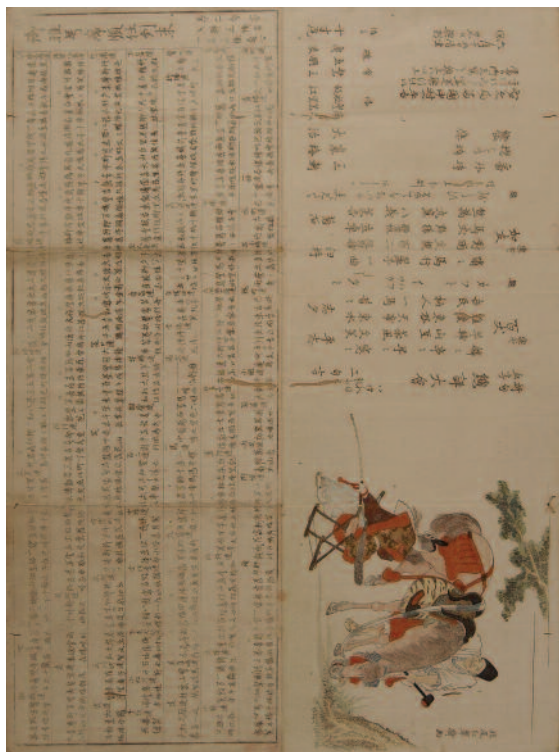


二五 江戸俳諧興行ノ摺物

一北尾紅翠齋(北尾重政)画

四二×五六 文化頃利
催主／十寸尾 ヤヤ虫

一枚 三五、〇〇〇



二六

江戸俳諧興行ノ摺物

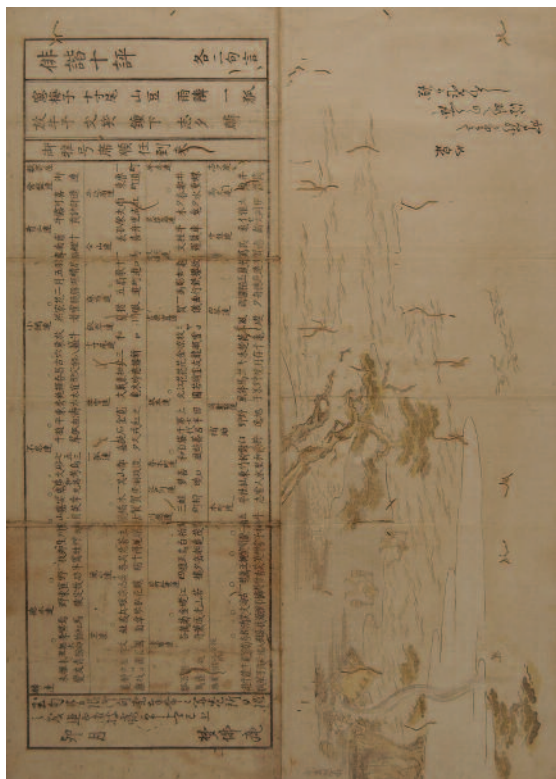
一北尾紅翠齋(北尾重政)画

四〇×五六

文化頃刊

俳諧十評 夢佛庵 少虫

一枚 三五、〇〇〇

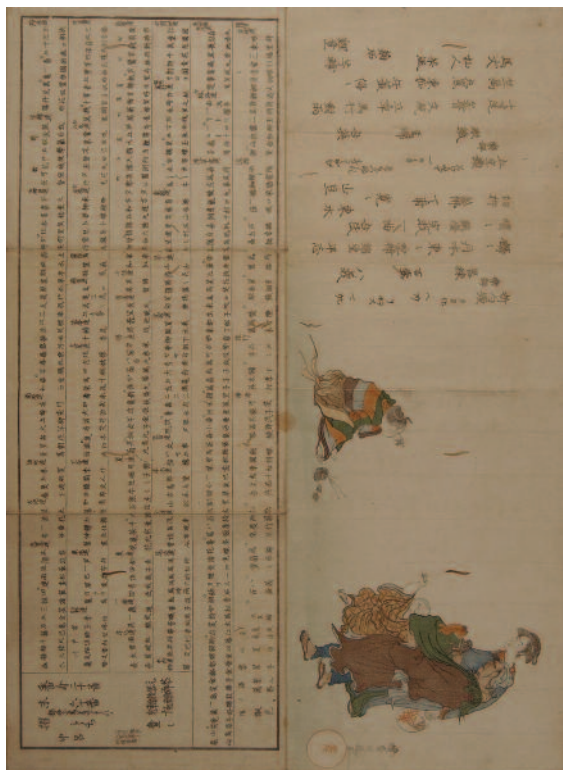


二七 江戸俳諧興行ノ摺物

一 續齋陀羅画 少虫

四〇×五五 文化頃刊

一枚 三五、〇〇〇



二八

東都兩國之風景ノ板木

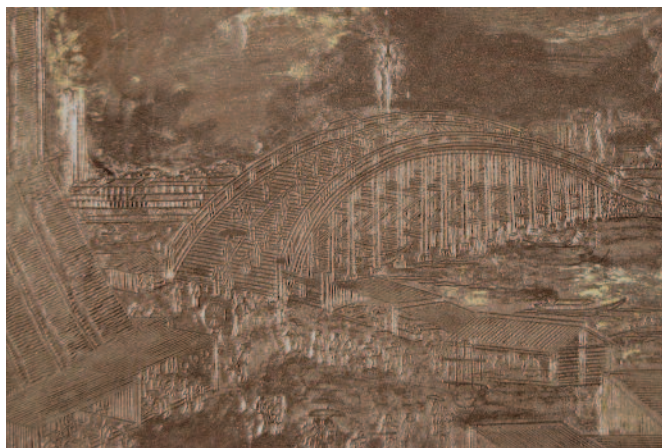
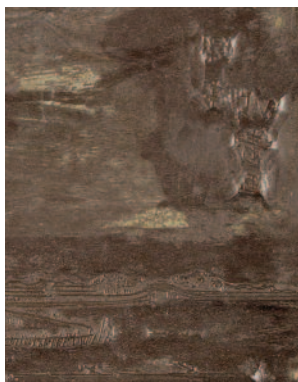
昇亭北寿画 板木ノ大キサ二五・二×三〇・〇糎

一枚 八〇〇、〇〇〇

北齋ノ高弟北寿ノ洋式版画ノ代表作ニシテ名品。文政頃ノ作品ト云ウ。
版面自體ハオリジナルダガ四周餘白ヲ裁斷シテ硬質ノ額縁ニ埋メ込ンダ
状態ニアル。額縁外枠デ二九・〇×四二・〇糎。



刷り上がりの参考圖版



二九

繪馬奉納ノ摺物

二四×三八

天保七年春三月吉日

一枚 二五、〇〇〇

三〇

銘問屋鏡 初編
| 放長谷川久藏筆意／米冲画
| 錦盛堂撰

二九×三八

安政六年初冬

一枚 二五、〇〇〇



三

上州高崎中紺屋町酒井平次郎引札
— 小林清親画 松本平吉編輯出版

明治一六年曆 一枚 三〇、〇〇〇
三五 × 二五 木版印刷 四周やや傷ミ



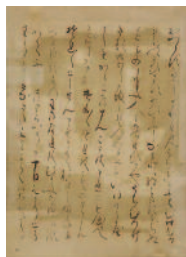
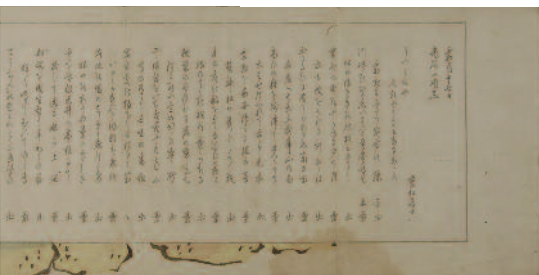
三三 柴田是真俳諧摺物
三三 江戸初期奈良繪
三四 古畫曉画雙六

一 河鍋曉齋画

日本橋／武川清吉版

二一×九五 安政二年冬
二四×一七・五糶
裏打傷ミ 無刊記

一枚 一五、〇〇〇
一枚 三〇、〇〇〇
一枚 四五、〇〇〇



裏面ノ書



三五

大將ぞろへ

染ミ

森治板

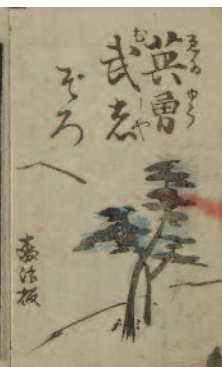
無刊記

江戸末期刊

極小二冊

三五、〇〇〇

―内題「英勇武者ぞろへ」― 八丁



- | | | | | | | |
|----|--------------|-------|------|--------|------|--------|
| 三六 | 子ドモ繪本ノ袋 | 源平盛衰記 | 八×六糎 | 明治初期頃 | 一枚 | 五、〇〇〇 |
| 三七 | 一板元／竹川町／松根屋板 | 源平盛衰記 | | | | |
| 三八 | 繪本廿四孝 | 銅版繪本 | 國政画 | 明18 | 極小一冊 | 一〇、〇〇〇 |
| | 俠客醉好傳三 | 極美 | 銅版繪本 | 明19 | 極小一冊 | 二〇、〇〇〇 |
| | 神山清七画版 | 明19 | 極小一冊 | 二〇、〇〇〇 | | |
| | 牧金之助編 | 明18 | 極小一冊 | 一〇、〇〇〇 | | |



三九	繪川中島軍記	銅版繪本	國政画	牧金之助編	明17	極小一冊	一〇〇〇〇
四〇	實録紫志ん八一代記	傷ミ汚レ銅版	町田瀧司		明18	極小一冊	五〇〇〇
四一	豊年むら芝居	少傷ミ	仰天子著	金港堂	明36	文庫判	三、〇〇〇
四二	楠木正成公	庄司善吉	大阪府教育會		大2	菊判	三、〇〇〇

